

ふちゅう歴史散歩 Vol.158



近年の発掘調査から府中市街地でも縄文土器が出土する遺跡が増えています。出土品の一部は、パンフレットでの紹介や、府中市歴史民俗資料館での展示をしています。ぜひ、ご覧ください。



府中市から出土した縄文土器を紹介しているパンフレット。教育センターなどで配布中！



縄文土器は、今から約1万5千年前ごろに発明されたと言われています。どこが発祥地点かは分かっていませんが、煮炊きの道具として使われ始めました。

縄文土器で「煮る」ことができるようになって、人々の生活は劇的に変わりました。灰汁が強いドングリ類や植物の根なども、ゆっくり煮ることによって食べられるようになりました。肉や魚、貝も柔らかく煮ることができ、汁といっしょに栄養が取れるようになりました。食べられる食材が増えて、食生活が豊かになったのです。

縄文土器の表面には煮炊きの時についた煤が残っていることがあります。それを見るたび、縄文土器は、縄文時代の人々にとって命を支えた魔法の道具だったのかもしれない、と想像を広げることができます。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見！

「デュアル実習Ⅰ」を終えて 高校生編 その115



投稿者(文と写真)

上下高校3年
東 拓哉さん

私は「デュアル実習Ⅰ」という授業で約8か月間、上下町内にある府中北市民病院で実習を行いました。府中北市民病院では、外来・病棟での看護業務の他に、訪問看護も行っています。実習では、患者様の介護・清拭、訪問看護、採血体験、手術室での内視鏡の体験などさまざまな体験をさせていただきました。実習の中で一番印象に残っていることは、訪問看護です。訪問看護では、利用者さんとのコミュニケーションの大切さを学びました。その際、看護師さん

に、「利用者さんの体調だけでなく、生活の面も見て変化があるかどうか見た方が良い」と教えていただき、周りを見ることの重要性に改めて気づかされました。また、あらゆる場面で見ると瞬時に的確な判断をされる看護師さん、介護士さんの姿を見て、この力は今後の高校生活や就職した際に大切だと思いました。私は今回の実習の経験を活かし、自分の将来に繋げていきたいと思います。



公式SNS



LINE



facebook



Instagram



メール



府中市メール配信サービス



スマホアプリ My府中



iPhone



Android